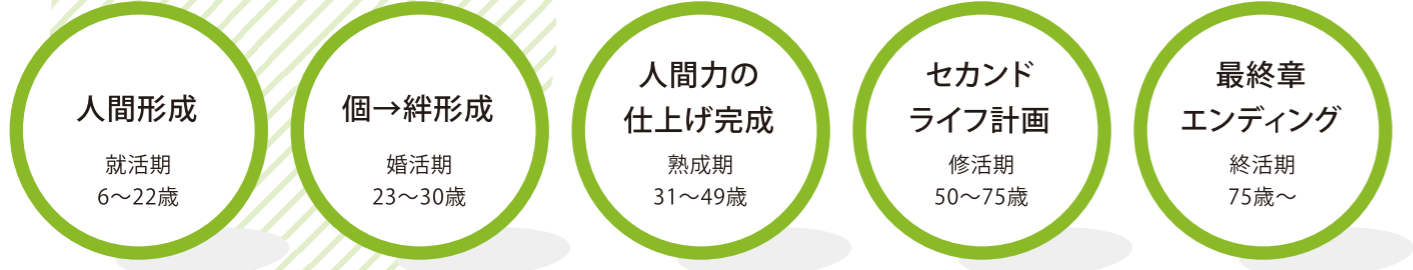


セカンドライフとは



終活より【修活】豊かに老い、美しく人生を修めよう

「終活」の代わりに「修活」→「人生」=「修生」とは文字通り、「人生を修める」という意味です。
 「老いの豊かさ」=人生の修活→人生の節目節目収める覚悟
 終活と言われると自分の最期の準備というイメージがありますが、
 実はそうではなくセカンドライフ(第二の人生)を有意義にするため、
 これからやりたいことや夢を考えることでもあります。



豊かに老い、
美しく人生を
修めよう



わたしたちの目的

会社中心の人生において会社依存度の高いコミュニティの中で生きている傾向が強く、
 組織の定年前に心の定年を迎えてしまい、前向きに人生設計を立てられない世代が多く、
 セカンドライフを楽しむ、生涯現役でということを考えられない層が増えてきている。
 そうなる前に早めの段階で気づきの場=支援コミュニティサイトの構築が必要。

現状の終活期に起きる問題、特に相続、空き家、介護等の問題は
 その時点ではなくSecondLifeのプランの中で発生するものとして
 事前に捉え起きたものをどう解決するのではなく、
 セカンドライフのプランニングの中でどう事前に対策していくかの気づき、
 相談の場としてone-stop体制構築し支援していくサイトを構築する。

空き家バンク、受動的なアプローチの場ではなく、「Second Life Network」は
 参加する人がみんなで考え、みんなで共有サポートしあう
 能動的な支援コミュニティの位置づけとしての運営を目指す。



わたしたちの活動内容

シニア世代の課題・選択肢は多様化傾向

修活サポート支援

- 空き家リスク対策
- 老後のリフォーム、耐震対策、建替え
- 売却、活用、住替え(街中マンション〜施設等)
- 老後生活の相談サポート(住)
- その他終活手続き(修活)
- 事業継承問題



コミュニティに対する活性化支援

高齢者集住化対策

- 個人、自治区、行政との連携による高齢化団地の活性化
- 既販団地の再開発、一部開発含む提案支援
- 街中居住推進との連携による人の流れと未利用地(空き家)の流通



働き方改革=生きがいの見つけ方⇒スキルアップ(気づきに関する)支援

Second Life 設計支援

- 生きがい探しの道の駅(サイトカテゴリー)の構築
- スキル活用支援、異業種、若手の人材とのConnect、アイデアのマッチング
⇒起業、製品化、趣味の輪の拡大
- 現有資産の活用提案⇒スキル活用、生きがいに関する目的に限定



課題

銀行にお金を預けるように、会社にアイデンティティを預けるのが当たり前だった社員の意識変革

人生100年時代と言われる現代。組織のヒエラルキーも崩れかけてきており、
 ますます自身の自律的なセカンドライフ(ネクストライフ&キャリア)をどう生きていくかを問われ始めてきた。
 しかしながら、具体的に何をどうしていいか、どんなアクションが有効なのか分からない
 中高年の組織人が非常に多く存在する。そのため本当の定年が来る前に、
 自身のキャリアの見通しが立たず、いわゆる“こころの定年”に悩まされる人が後を絶たない。

理想

能動的な人生設計を能動的にプランニングする人が
 当たり前の時代へ。結果まちづくりにつながる

誰もが組織に依存ではなく自律的なキャリア形成できている。
 街の様々な価値のある資源(土地建物人文化など)が循環し街が活性化する。
 「自分さえ良ければいい」若い世代の力になりたい」と考える大人が増えている。
 人生にビジョンを持つ「イキイキ高齢者」が増える。

解決策

自己理解を深め、ビジョンを掲げ、実現のために
 地域の様々な「人」「コミュニティ」「活動」に参画

セカンドライフネットワークのサイトを通して「自己理解」を深めた上で、
 コミュニティや活動をサポートする専門家(セカンドライフサポーター)が「人」「活動」「仕事」を仲介します。
 セカンドライフを目前に次のキャリアを考える上で、自分は一体何がやりたいのか、
 自分の経験をどう生かせるのかを見いだせずにいた人たちの